

【科目名】 言語発達障害学各論Ⅱ (CP・その他)		【担当教員】 鏡 昭子 (メールアドレス) (オフィスアワー)
【授業区分】 専門分野 (言語聴覚障害学)	【授業コード】 5-29-1120-0-1	
【開講時期】 3 年次 前期	【選択必修】 必修	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識) グループ発表内容については、当日 (発表) までまとめて学生人数分をコピーし提出すること。		
【講義概要】 (目的) 言語発達障害の中の運動障害 (CP,重複障害) について学ぶ。 (方法) 脳性まひ、および CP に知的障害や視覚障害、聴覚障害等が加わって重度の障害をもつ人たちについて講義から知識を得る。重度の運動障害や言語障害をもつ子どもたちでは、通常の検査ができないことが多いので、周囲の大人の観察眼が重要になる。観察眼を養うために、VTR を提示し、解説していく。		
【一般教育目標(GIO)】 ・脳性まひを中心に、その他の運動障害についても理解を深める。 【行動目標(SBO)】 ・運動障害と乳幼児の発達に与える影響の大きさを理解する。 ・脳障害に起因する運動障害における運動機能以外の障害を併せて理解する。		
【教科書・リザーブドブック】 言語発達障害学 (医歯薬出版)		
【参考書】 講義内で随時紹介する。		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 講義内の発表、グループ発表、実技も含む総合的評価を行う。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		90						10	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容			授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)			時 間 (分)	
1	運動発達障害			講義					
2	脳性マヒ			グループ発表	担当グループは資料をま とめておく				
3	重複障害、重症心身障害			グループ発表	担当グループは資料をま とめておく				
4	脳性マヒの評価、指導目標			グループワー ク					
5	脳性マヒの言語訓練			講義					
6	重複障害、重症心身障害の評価、指導目標			グループワー ク					
7	重複障害、重症心身障害の言語訓練			講義					
8	まとめ			講義					

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。